



## はじめに

平成 24 年 1 月 1 日、警察は、オウム真理教関係警察庁指定特別手配被疑者の平田信を逮捕しました。その後、6 月には、菊地直子及び高橋克也を逮捕し、17 年に及ぶ一連のオウム真理教関係の事件捜査に終止符を打ちました。

また、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から 1 年を迎えて以降も、警察は懸命の捜索活動を続けたほか、警戒区域周辺におけるパトロール活動等を実施するなど、全国警察を挙げて被災地の安全・安心の確保に努めました。一方で、福島第一原子力発電所事故以降、各地で取り組まれた反原発運動は、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した呼び掛けなどを通じ、幅広い年代の人々が参加するなど、更なる盛り上がりを見せる中で、これを組織拡大の好機と捉える過激派が、これら運動へ介入する動きがみられました。

他方、尖閣諸島や竹島をめぐる情勢は、我が国の治安に多大な影響を与えました。右翼等は、これらの情勢を捉えた抗議行動に取り組む中で、悪質な事件を引き起こしたほか、尖閣諸島の国有化に関連するとみられるサイバー攻撃も発生し、裁判所等の政府機関が標的となりました。

さらに、北朝鮮による 2 度の「人工衛星」と称するミサイル発射や、各国における「ローン・ウルフ」型のテロの発生といった国際情勢も、我が国に大きな脅威をもたらしました。

警察では、今後も、治安情勢を的確に分析・把握し、公安の維持を図るため各種対策を的確に講じていきます。

※ 掲載内容は、特に記載のある場合を除いて、平成 24 年 12 月末現在のものです。